

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

令和3年度 第3回 飯倉駅前地区まちづくり協議会

議事録

日時 (協議期間)	【書面開催】※新型コロナウイルス感染防止対策として ・協議期間 令和4年2月24日(木)～令和4年3月6日(日)
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 江波戸 秀雄 匝瑳市豊栄地区シニアクラブ会長 大塚 栄一 匝瑳市商工会会長 宇井 昭夫 匝瑳市シルバー人材センター会長 眞田 心哉 千葉興業銀行営業支援部長代理 代理回答 斎田 忠 千葉興業銀行八日市場支店長 宇野 智弥 匝瑳市介護事業者連絡会 加瀬 功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 吉本 光志 豊栄地区社会福祉協議会長 椎名 英夫 幼稚園・保育園運営者代表 片岡 博之 豊栄地区区長会長 石田 隆 須賀地区区長会長 松本 理 元豊栄地区区長会長 結城 康博 学識経験者(淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授) 山口 勝則 移住希望者</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸 美代 専務理事 鈴木 敦子 事務長 庄村 秀泰 コーディネーター</p> <p>特定非営利活動法人元気な日本をつくる会 武藤 克哉 組織運営本部事務局長</p>

議事録	事務局	<p>1 書面開催について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染防止対策として協議会・専門部会を書面開催とし、各委員へ資料を事前交付</p> <p>(2) 意見票は、3月6日(日)までの投函を依頼</p>
	事務局	<p>2 書面对応(配布書面内容)</p> <p>(1) 第2回協議会/専門部会委員のご意見について</p> <p>① 移住・定住へのPR手法</p> <p>② 地域交流センターの活用</p> <p>(2) 事業進捗状況について</p> <p>1) 工事進捗状況</p> <p>① サービス付き高齢者向け住宅「聖アンナ館」</p> <p>② 地域交流センター「ナザレの里」</p> <p>2) 移住・定住へのPR手法</p> <p>① まちづくりパンフレットの作成と配布</p> <p>② PR動画の作成と配信</p> <p>3) 地域交流センターの活用</p> <p>① 生涯学習施設の運営</p> <p>② 農産物直売所の運営</p> <p>4) 移住者等に対する支援プログラム</p> <p>① お試し居住による移住促進</p> <p>② 暮らしの相談窓口の開設</p> <p>(3) 令和3年度 まちづくり協議会のまとめ</p> <p>1) 「安心・安全な生涯活躍のまちを実現する運営方法とPR」をテーマに、移住・定住の推進PRについて検討</p> <p>① 動画の配信</p> <p>② パンフレットの配布</p> <p>・ 各種PRツールを活用し、市外・都市部へのPRを継続</p> <p>2) 「匝瑳市全体で取組むコミュニティ運営」をテーマに、地域交流センターの活用について検討</p> <p>① 生涯学習室の運営の方向性を確認</p> <p>② 農産物直売所の運営の方向性を確認</p> <p>③ 移住者等への支援プログラムを検討</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度は本格運営開始に向け準備
	【意見票】	
A 委員	<p>本市における医療そして、特に社会福祉事業に積極的に取り組んでいる事に対しまして感謝と敬意を申し上げます。</p> <p>本計画の「飯倉駅前地区まちづくり」であります、飯倉駅に近く、九十九里ホーム病院を核として、特別養護老人ホーム、高齢者向け住宅、あかしあこども園等、医療、福祉施設に優れている地域であります。</p> <p>従って、立地条件が良い所に、今後予定されている「地域交流センターの活用」が市民にとって、地域のコミュニティの場、そして憩いの場となり匝瑳市の一翼を担う「交流施設」になる事を期待しております。</p>	
B 委員	<p>計画通りに各施設が完成し、まさにこれからこの4施設と九十九里ホーム病院との連携にて、安心の福祉エリアとしていかに向上させていくべきかが課題の1つです。</p> <p>第2回の意見で地域交流センターにカフェとありましたが、今、大きな総合病院内にスターバックスやドトールなどが営業をしています。旭中央病院ではドトールが入り、このエリア No. 1の売上を誇っています。お客様もまさに老若男女・年齢も様々なお客様が入り賑わいを作っています。また、今やテレワーク、ワーケーションなどがマスコミで大きく取り上げられています。働き方改革の一環とコロナ後を見据えてこれも定着されていきます。シオン、聖アンナ館のご家族方が施設へお越しの際に1、2か所のテレワーク(Wi-Fi 完備)可能な場所があれば、その人達も安心して親御さんのところへ顔出しも楽しくなるのではと思います(交流人口の向上として)。</p> <p>この春に旭市にも同様のにぎわいの施設が1か所オープン予定です。そこに介護の施設も加わるとの事で、大きく考えて飯倉駅前と旭市のにぎわい場所の連携も大きなPR効果が期待されますし、どのように連携していくかも今後の課題です。そして何より2年後いよいよ九十九里ホームの南方に高速のインターチェンジが完成予定です。南からの交通アクセスが良くなり、これも大いに活用されるべきだと思います。</p>	
C 委員	<p>本まちづくり、匝瑳市に対しては地元金融機関として常に何かできないかと考え行動しております。</p> <p>例えば私が勤務する千葉興業銀行八日市場支店のロビーには今回のまちづくりの資料をさりげなく置いて普及の声かけをしております。お客様との会話のなかでは、飯倉駅前まちづくり、匝瑳市の発展に結び付かないかと</p>	

	D委員	<p>常に考え行動しております。</p> <p>その他の意見については以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院を中核とする施設が飯倉駅前、126バイパス、銚子連絡道のインター至近のロケーションに位置することから匝瑳市の発展の起爆剤になりうる施設であり、地域交流センターを有効に活用していくべきと考えます。 ・飯倉駅は小さな駅ですが綺麗でかわいい駅でコンパクトなロータリーが整備され、ホームも上り下りが一つのホームであり、ナザレの里まで段差なしでバリアフリーとなっております。ロードバイクをそのまま電車から降ろすことが容易ですので、現在両国から銚子までJR東日本が運行しているサイクルトレインB. B. BASEを飯倉駅に誘致し、市内を観光するサイクルツーリズムを展開してはどうかと思います。匝瑳市観光協会やJR東日本との連携が必要になると思いますが、都市部から来るサイクリストにナザレの里でおもてなしをし、交流が図れると思います。 ・地域交流センターでは九十九里ホーム職員や高齢者向けにスマートフォン講座を展開してはどうかと思います。お孫さんとInstagramやメール、LINE、Twitterを楽しめれば認知症の防止にもなります。匝瑳市全体がSNSを積極的に活用し、匝瑳市の魅力を発信できるまちになると移住者に対するアピールもできると思います。 <p>1. 地域を支える介護人材の不足</p> <p>2025年を目前に、すでに匝瑳市内では深刻な介護人材不足が発生しております。匝瑳市の移住を進める事と同時進行で働き手の確保をするべきでは無いでしょうか。</p> <p>資料3ページに有ります、市内学生の70%が賃金(お金)より生きがい働きがいを重視との事ですが、現状、やりがい搾取という言葉も有る様に、生涯設計を考えた時に現場の介護だけでは生きて行けないのが現状では無いでしょうか。</p> <p>匝瑳市介護保険事業者連絡会としましては、介護士の地位向上を目指したいと思います。</p> <p>2. 交流センターの活用方法</p> <p>物産展等は近隣にスーパー等が無いと、交通難民と呼ばれる層には大変ありがたいことと思います。特に生鮮食品も扱っていただくと利用客も増えるのではないのでしょうか。</p> <p>また、スペース活用にあたり、起業願望は有っても、若いから、実績が無いからとの理由で融資等が受けられない方々に低コストで貸し出し挑戦権を与えることは素晴らしい取り組みかと思います。そこから若者文化SNSで「夢が叶えられるまち、匝瑳」とどんどん</p>
--	-----	--

		<p>拡散してもらえれば、広告コストの削減に繋がるはず です。大人が作った物より、同世代が作った物の方が 心に響きます。</p> <p>最後に、匝瑳市(旧野栄町地区)は人口減少により消滅 地区町村に指定されました。前例が無いからやらないな んて悠長な事を言っていたら、近い将来このまちは無く なる事は確定しています。成功の確率がたとえ0%だとし ても、子ども達、若者達に託してみませんか。大博打か もしれませんが、旭市、横芝光町のまちづくりに負けな いよう、誰もが呆れるようなプロジェクトで。責任だけ は大人がとりましょう。</p> <p>サ高住もほぼ入居者も決まりつつあり、一番心配して いたことが解決されそうで良かったです。</p> <p>これからは地域交流センターの運営が大きな課題にな ります。特に農産物直売所が一番のポイントになるでし ょう。</p> <p>障がい者就労継続支援事業所としての理想の実現に は、行政・市民・企業の協働が不可欠になります。この 3者代表が英知を集めて研究、検討する組織が必要にな ると思います。(例:「地域交流センター運営委員会」こ れには移住居住者もメンバーに入れたらいいと思いま す。)</p> <p>匝瑳市は、総務省により4月には「一部過疎地域」に 指定される予定と聞きます。「生涯活躍のまちづくり」が 結実し、中高年の移住が進み人口減少の歯止めとなるこ とを期待します。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。 皆様から寄せられたご意見、ご感想を参考にしなが ら、今後の運営について考えていきたいと思えます。 今後ともよろしくお願い致します。</p>
	E 委員	
	F 委員	
	井上峰夫 会長	